

「住友理工 第5回学生小論文アワード」表彰式開催 ～102本から選ばれた11本の各賞を発表～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 社長：松井徹）は9月18日、「住友理工 第5回学生小論文アワード」の表彰式をホテルサンルートプラザ名古屋（名古屋市中村区）で開催しました。最優秀賞には森陽愛子さん（筑波大学）の「オレンジ企業」が選ばれ、表彰状と副賞100万円が授与されました。また、最優秀賞次席には高槻祐圭さん（大阪大学）の「無意識なエシカルを広める—対話の場を生むイノベーション—」の1本を選出したほか、優秀賞3本、審査委員特別賞6本が選ばれ、それぞれ表彰状と副賞および記念品が手渡されました。



表彰状を手に笑顔で記念撮影に応じる受賞者

本アワードは、2015年よりスタートし、今回は102本の応募がありました。

最優秀賞に輝いた森さんは「これからもSDGsや健康づくりについて考えていきたい」と語りました。また、他の受賞者からも「論文執筆を通じて、SDGsへの理解が深まった」「SDGs達成を担う世代として今後も継続して取り組んでいきたい」などの声が聞かれました。

審査委員長の河口真理子氏（株式会社大和総研 調査本部 主席研究員）は、「今回の受賞をスタートラインとし、自分たちの想いをブラッシュアップ・完成させて、世に送り出してほしい」とエールを送りました。

表彰式終了後には、サステナビリティ戦略のコンサルティング事業を手掛ける株式会社ニューラル代表取締役 CEO の夫馬賢治氏をお招きし、「SDGs・ESG投資・サステナビリティ」をテーマに講演いただきました。SDGsとESG投資のつながりや、ESG投資の世界的な広がり

によって、金融の世界では何が起きているかなどをご説明いただきました。「なぜ日本はサステナビリティを取り入れるのが遅れているのか」「実現が難しい目標を掲げることで出てくる困難な課題にどう向き合っていけばよいか」などの質問についても話し合われました。

<「住友理工 第5回学生小論文アワード」各賞受賞者一覧>

賞	氏名・学校・学部	論文タイトル
最優秀賞 (賞金 100 万円)	森 陽愛子 筑波大学 医学群	オレンジ企業
最優秀賞次席 (賞金 50 万円)	高槻 祐圭 大阪大学 法学部	無意識なエシカルを広める—対話の場を生むイノベーション—
優秀賞 (賞金 10 万円)	須山 怜央・樋口 暉・ 相澤 友香 法政大学 人間環境学部	脱炭素トランスフォーメーション ～サステナブル産業革命のリーダーを目指せ!～
	前川 直也・佐久間 太郎・ 吉村 崇志 明治大学 政治経済学部	SDGs に向けた大企業の組織イノベーションへの提案
	中山 佳南 椋山女学園大学 現代マネジメント学部	多文化協働サラダボウルのススめ—働きがいも経済成長も—
審査委員特別賞 (記念品)	安藤 新人・磯邊 綾菜 京都府立医科大学 医学部	医療分野におけるイノベーション
	萱津 希音 麻布大学 獣医学部	未来に選ばれる企業～里山×畜産で持続可能な社会に～
	川島 爽花・氏平 杏里紗 法政大学 人間環境学部	未来を創るルールメイキング・カンパニー ～新たな社会秩序を作り上げるイノベーションの創発に向けて～
	高橋 聡・俣野 耀太郎・ 吉田 健人 明治大学 商学部	SDGs から利益を創出する企業を目指して
	長澤 瑞木 東京学芸大学大学院 修士課程 教育支援協働実践開発専攻	AI 時代における持続可能な教育とは ～新たな企業が起こす教育オープンイノベーション～
	ボーク・ジェームス 上智大学 理工学部	「生態系のイデオロギーより構築する未来の会社としての在り方」

以上

--- 住友理工について ---

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制動音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。23ヶ国106拠点に広がるグローバルネットワークを活用して、世界中の人々の安全・快適・環境に貢献する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋

tel 052-571-0259 e-mail kouhou@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>